

厚生省心身障害研究「保健・医療・福祉にかかわる医療資源の有効活用に関する研究」

母子保健・医療・福祉情報のコンピュータ資源

—インターネットにおける情報の活用—

中村 敬¹

【要約】わが国における高齢化と少子化現象は、21 世紀に向けて急速な勢いで進行している。この少子化に対して、種々な子育て支援が行われているが、この中で注目されている一つが、子育てに関する適切な情報を適時提供するシステムである。最近、爆発的な流行を醸し出しているインターネットからも、母子保健、医療、福祉に関連する有益な情報が発信され、中には双方向の情報交換の場として活用されている。これらの情報の提供元をみると、行政機関、教育機関、研究機関、各種法人によるものが多いが、最近の特徴として、民間企業、ボランティア団体、患者の会、個人が提供する情報が急増してきている。われわれは、昨年度よりコンピュータを通して電子的に提供される母子保健福祉情報について検討しているが、今年度はインターネットを通して提供されている情報について、いくつかのホームページを検証してみた。今回は収集したホームページは国内版が用意されているものとし、個人的主張が強いものや、営利目的のもの、個人のもは除外して検討した。

見出語：母子保健、母子医療、母子福祉 コンピュータ、インターネット

【目的】

マルチメディア時代の到来により、インターネットが爆発的な人気を呼んでおり、インターネットに乗った母子保健・医療・福祉に関する情報も急増してきている。また、患者親の会、子育てサークル、母子保健・医療、福祉の専門家個人によるインターネットのホームページも急増してきている。本研究では、このような時代的背景を考え、インターネット上で提供されている母子保健、医療、福祉の情報を分析し、活用できるホームページのディレクトリー集を作成

することを目的としている。

【対象および研究方法】

対象はインターネットの検索エンジンである Yahoo 日本語版、Hole-in-One, WebeW, Infoseek Japan、やっほ～、Acaranavi, altaVista を用いて、母子、保健、子ども、福祉などのキーワードを組み合わせ検索し、さらに、該当したホームページにリンクされた関連サイトから別のホームページを探し当てるといった方法で対象を拡大し収集した。今回は日本語版をサボ

¹ 独協医科大学越谷病院小児科、日本子ども家庭総合研究所

ートとしているホームページに限定した。

研究の方法は、対象としたホームページから提供されている情報を検討し、母子保健、医療、福祉の現場で役立つと思われる情報を抽出した。さらに、これらを提供機関から、行政機関、教育機関、研究機関、各種法人および民間企業、患者親の会、地域病院、その他に分類した。

今回は、この中から一部のサンプルを紹介するにとどめ、本研究の最終年度にディレクトリー集を作成するつもりである。

【結果】

1) 行政機関から提供される情報：

行政官庁が保有する情報は、かつては、一般人の目に触れるものは、報道等で公開されたものに限定されていた。最近では、厚生省をはじめ、地方自治体もその保有する情報を広く公開する方向に傾いている。しかしながら、まだまだ、確定された情報の提供と掲示板的作用にとどめているところが多い。厚生省のホームページ（図-1）を紹介すると、内容的には昨年度紹介したニフティサーバから提供されている情報とほぼ同じであるがインターネット上での情報提供に力を入れているのが伺える。報道情報はアップデートが早く、トピックスはニュースソースとしての価値が高く、0-157の治療マニュアルなどタイムリーな情報と評価できる。また、審議会などの議事録や調査結果は国レベルでの問題を把握するのに大いに役立つ。また、統計情報部から提供される人口動態統計などの統計資料は迅速性があり、研究や地域の保健・福祉計画を策定するのに役立つ。

地方自治体のホームページは、自治体の

施策に関する広報として利用されているものが多く、地域の観光案内から始まって、行政からのお知らせやイベントの案内、審議会などの議事録が掲載されている。東京都のホームページでは、都政に対する都民の意見を直接収集するためのボードが用意されている（図-2）。大阪府のホームページでは、知事がのれんをかき分け、出入りする動画がユニークである。内容は府政全般に関する情報が掲載されており、各部署や研究所などの関係機関のホームページとリンクしている（図-3）。

行政の中にはその地域の教育機関が用意しているサーバや企業が用意しているサーバに、情報を掲載したホームページを託し、官民一体になった町起こしに利用しているところもある（図-4、図-5）。これらのホームページには市町村の医療・保健・福祉関係の事業の案内や広報が掲載されている。

2) 教育機関から提供される情報：

大学を中心として、インターネットを通して情報を提供している教育機関は多い。大学の組織やスタッフの紹介、学部の案内、入学募集要綱、研究業績の紹介などが中心になっており、医学系大学では、独自の医療情報が掲載されている。今回、2~3の医学系大学のホームページを紹介すると、図-6に示したのは神戸大学小児科のホームページであり、兵庫県の周産期救急システムの情報のページとリンクしている。また、厚生省心身障害研究班で作成した周産期データベースのフォーマットがマッキントシュ（ページメーカー版）、Win95（アクセス版）がダウンロードサービスされている

(図-7)。図-8は滋賀大学小児科のホームページである。滋賀県の新生児救急医療に関する情報が提供されている。これは、パスワードでロックされており、一般には公開されていない。もう一つ、アレルギー外来のホームページを紹介しておく、「外来でお母さん方に説明している内容をもとにこのページを作っている」といった下りから始まるこのホームページは、喘息についてわかりやすい情報を提供している。もう一つ東京大学小児科のホームページを紹介しておく(図-9)。

3) 研究機関から提供される情報

研究機関は、国の感染症研究所、衛生試験試験所、家畜衛生試験所、がんセンターなどから豊富な情報が提供されている。また、東京都衛生研究所など地方自治体の研究機関のホームページがあり、文部省所管の国立婦人教育会館や特殊教育研究所からも、その所蔵している豊富な資料を用いて情報の提供を行っている。さらに、恩賜財団の日本子ども家庭総合研究所も新たに情報提供を開始している。

図-10：国立感染症研究所のホームページで0-157など感染症に関する最新情報が掲載されている。

図-11：国立衛生試験所のホームページであり、化学物質、食品、薬品に関する情報が豊富である。

図-12：国立家畜衛生試験所のホームページであり、狂牛病やエボラ出血熱、0-157など家畜が関与する感染症、家畜衛生、獣医学に関する豊富な情報が提供されている。

図-13：東京都衛生研究所のホームページであるが、0-157関連情報やレジオネラ情

報、クリプトスポリジウム集団下痢情報など最近の感染症のトピックスが掲載されている。

図-14：国立婦人教育会館のホームページであり、従来から汎用機による大規模なデータベースを構築しており、最近、インターネットに参入し、婦人に関する豊富な情報の提供を行っている。

図-15：国立特殊教育研究所のホームページとその中にある情報センターのページである。ここは、特殊教育に関する資料のセンターであり、従来より汎用機でデータベースを構築している。内容的には書誌情報であるが、コピーサービスもしてくれる。文部省の学術情報センターともリンクしており、広域情報ネットワークを構築している。

図-16：日本子ども家庭総合研究所(日本総合愛育研究所改称)のホームページである。これは平成9年4月に改称発足し、所蔵する豊富な情報をインターネットにより提供しようとするものである。現在まだ工事中であるが、かつて、全国母子保健資源集(母子保健情報15号)として、全国の保健所、小児病院、福祉関連機関などの所在地情報を収集し刊行したものを基にアップデートし、ホームページに掲載している。さらに、所内図書館に所蔵する文献の書誌情報(約13万件)のデータベースをホームページから検索できるようにしている。

4) 財団法人や民間のホームページ

このあたりになると、殆どネズミ産的に増殖しており、一体どれだけの数があるのか見当もつかない。今回は検索して知り得たいいくつかを紹介するに止める。

図-17: Child Research Net は小林登先生の挨拶からはじまり、ファオーラムという名で掲示板が用意されている。また、ナビゲータという名で子どもに関する様々な情報が検索できるようになっており、収録情報は5万件であるという。

図-18: これは、母子保健・家庭保健教育普及グループのホームページである。ここは、多くの健康教育用のテキストやリーフレット、母子手帳の外国語版、国別の海外の予防接種情報、国別の海外の母子保健事情など多くの情報資源を有しており、書籍として販売している。また、定期的に機関誌「母子保健ニュース」を刊行しており、これらの豊富な情報をホームページを通して紹介している。しかしながら、全文テキストとして情報の中身をすべて提供しているわけではないので、最終的には書籍を購入する必要がある。残念ながら書籍の注文はインターネット上ではできない。

図-19: 民間の企業が構築しているホームページで、この中のJCSネットに「福祉の町」というページがあり、福祉関係情報が満載されている。高齢者福祉に関する都道府県相談所窓口や福祉関連の組織や団体のディレクトリー、福祉用具の展示や相談などのページが用意されている。残念ながら高齢者福祉に関する情報が主である。

図-20: 企業が出しているホームページで、興味があるのは、栄養ナビゲータである。これは、栄養成分を知りたい食品を選択すると、画面に示したように栄養成分が数値で表示される。なかなか利用価値のあるサービスである。

図-21: 民間企業の和光堂が出しているホームページで、離乳食の献立のサンプルや

調理方法が図解されている。インターネットならではの情報提供の仕方である。

5) 患者・患者親の会から提供される情報

図-22: は日本ダウン症の親の会が出しているホームページであり、規模が大きく、海外のダウン症関連のホームページともリンクしており、海外情報も豊富に掲載している。

図-23: 喘息 FAQ が出している喘息に関する情報を掲載したホームページで、喘息に関する基礎的情報が提供されており、喘息患者や医師に対する知識の普及を目指している。

6) 地域病院から提供される情報

図-24: 広島市立ふないり病院が出しているホームページで、子どもの事故防止対策や事故の処置についての情報が掲載されている。図-25: 東京の愛育病院のNICUが出しているホームページである。NICUの関連サイトのリストが大変役立つ。図-26: 牧丘町立病院が提供している予防接種ガイドラインの全文である。

7) その他の情報

図-27: これは、山口大学から internet gopher で提供されている中毒ディレクトリーで、中毒物質ごとの細かい内容が紹介されている。

図-28: 日本中毒情報センターのホームページで資料は豊富である。残念ながら中毒関連のデータベースは会員登録とパスワードが必要である。

【考察】

今年度は、インターネット上での母子医療・保健・福祉の情報がどのような形でどこから提供されているかをみる目的で、提供先を行政機関、大学など教育機関、研究機関、財団法人および民間企業、地域病院、その他に分けて検討してみた。

国の各省庁はインターネットによる情報提供に力を入れており、厚生省のホームページでは、アップデートも早く、報道発表資料、トピックス、統計資料、審議会などの議事録がいち早く掲載されており、活用価値が極めて高いと評価できる。地方自治体のホームページは東京都と大阪府を検証したが、都政、府政全般が掲載されており、全体として情報量は莫大だが、全体に漠然としており、医療・保健・福祉の情報に限定すると情報量が少ない。しかし、リンクされた関連サイトからは興味ある情報を引き出すことができる。最近では市町村からの情報発信が増加してきているが、大部分は地域の案内と広報、観光案内が主になっており、地域の医療・保健・福祉の情報を引き出すのはむづかしい。

教育機関はとくに医学部について、検証してみたが、殆どの大学でホームページを出している。しかし、小児科は必ずしも多くはない。神戸大学や滋賀大学が手がけている周産期救急情報（空床情報が主）の発信基地としては、インターネットは最適と考えられる。

研究機関からの情報提供は、質の高いものが多く、トピックス性というより、すでに構築されているデータベースの公開、研究成果の紹介など、研究者にとって価値の高い情報が得られる。

各種財団や民間企業もホームページを持

つところが多いが、多くはPR、事業の概要が主になるが、それぞれに工夫を凝らし、利用価値の高い情報源となっている。グリコの栄養ナビゲータなど、診療、相談などの実際の場面でも活用が可能である。また、和光堂のホームページの離乳食の作り方は絵で説明がされており、インターネットならではの情報といえる。また、広島市立ふないり病院小児科のホームページにある子どもの事故の起こる場面を、イラストでわかりやすく説明しており、マルチメディア時代をうまく捉えている。

中毒情報は広島大学法医学教室、山口大学、日本中毒情報センターなどから、情報が発信されているが、山口大学の internet gopher が利用しやすい。情報は対象毒物ごとに、毒性から治療まで簡潔に解説されており利用しやすい。

【結語】

本年度は、インターネット上に提供されている情報について、行政機関、教育機関、研究機関、各種財団および民間企業、患者の会、地域の病院、その他に分け、医療・保健・福祉に関連する情報がどのように提供されているのかを検証してみた。

図-1：厚生省のホームページ

URL: <http://www.nhw.go.jp>

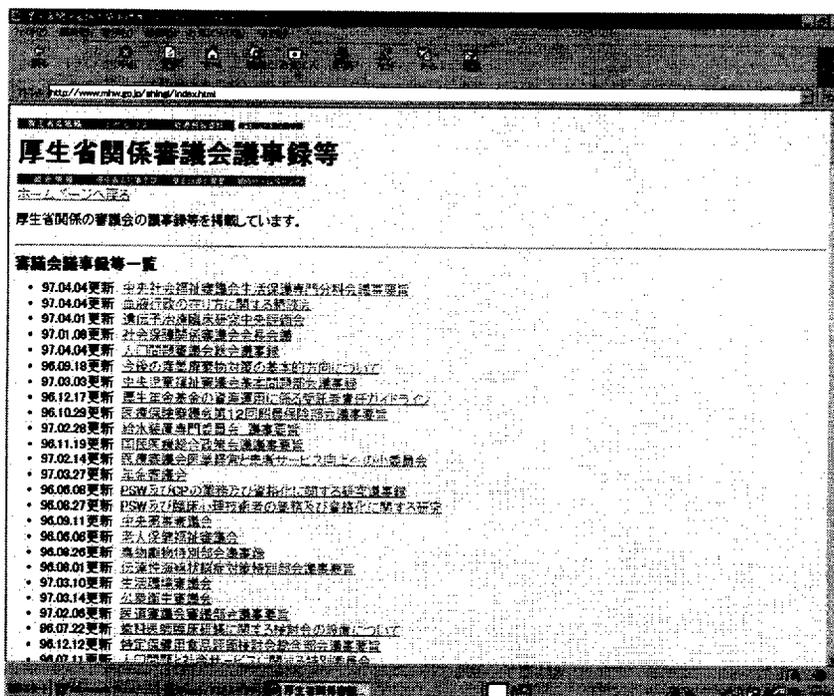
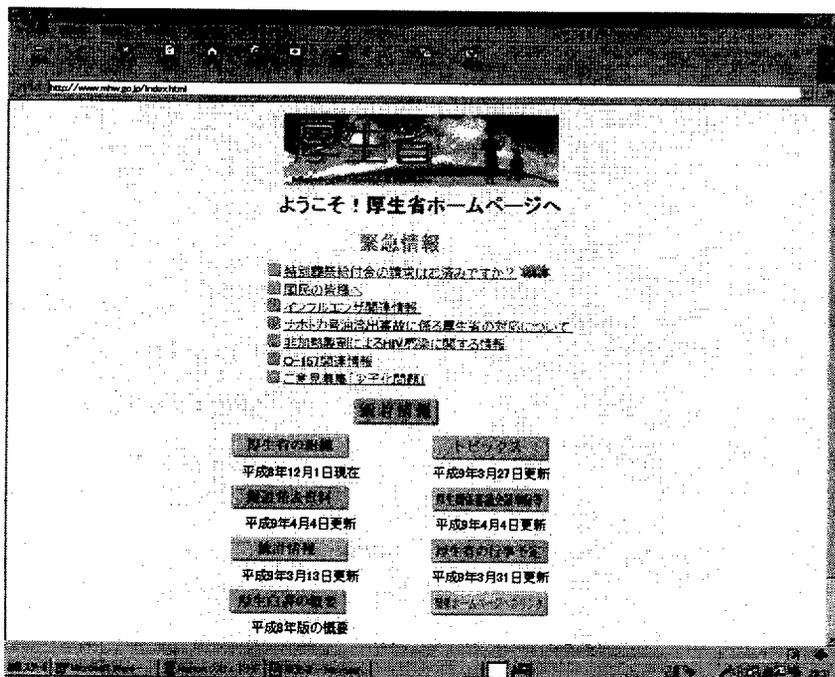


図-2：東京都のホームページ

URL：http://www.metro.tokyo.jp

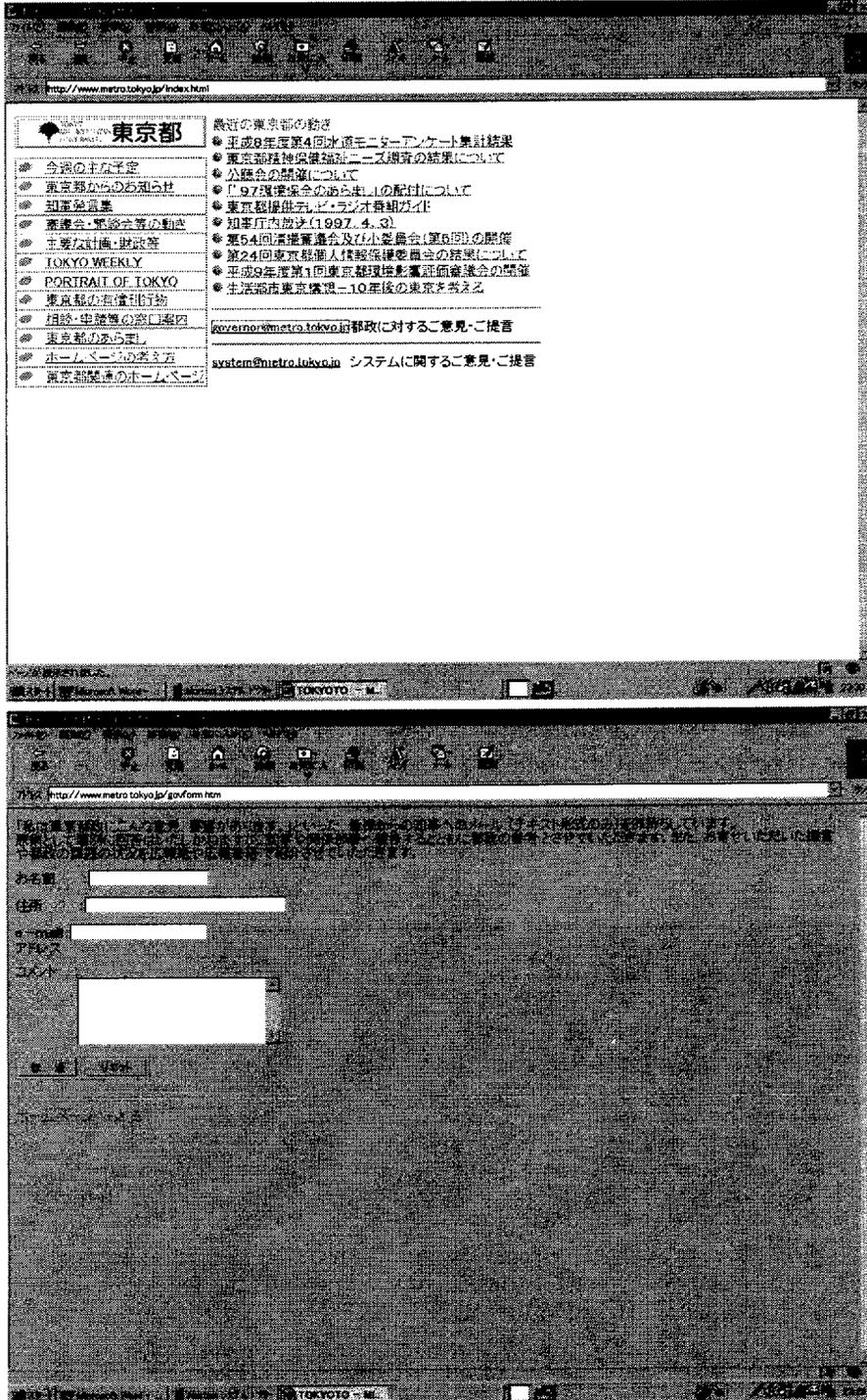


図-3：大阪府のホームページ

URL：http://www.pref.osaka.jp

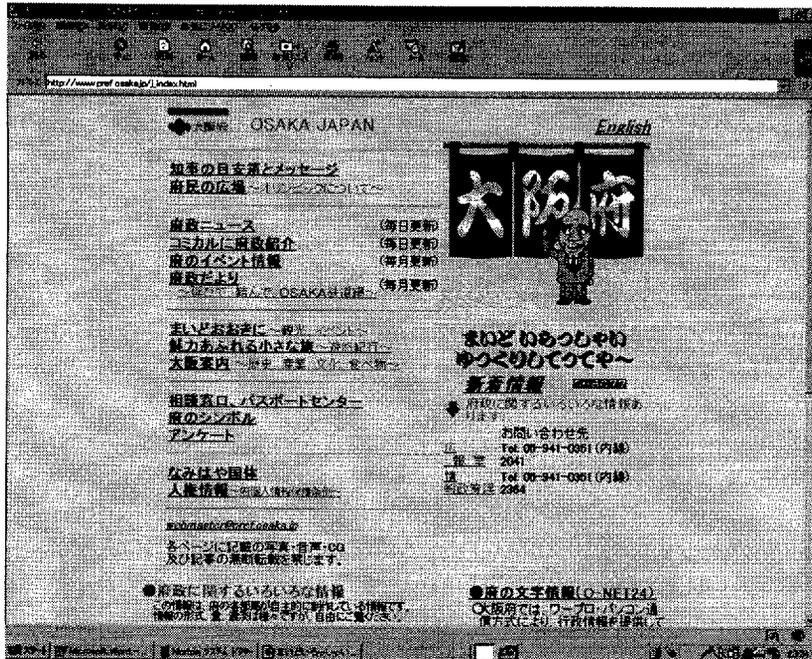


図-4：青梅市のホームページ
(地域の明星大学のホームページに相乗り)

URL：http://www.meisei.ac.jp/cgi_bin/o.o.cgi

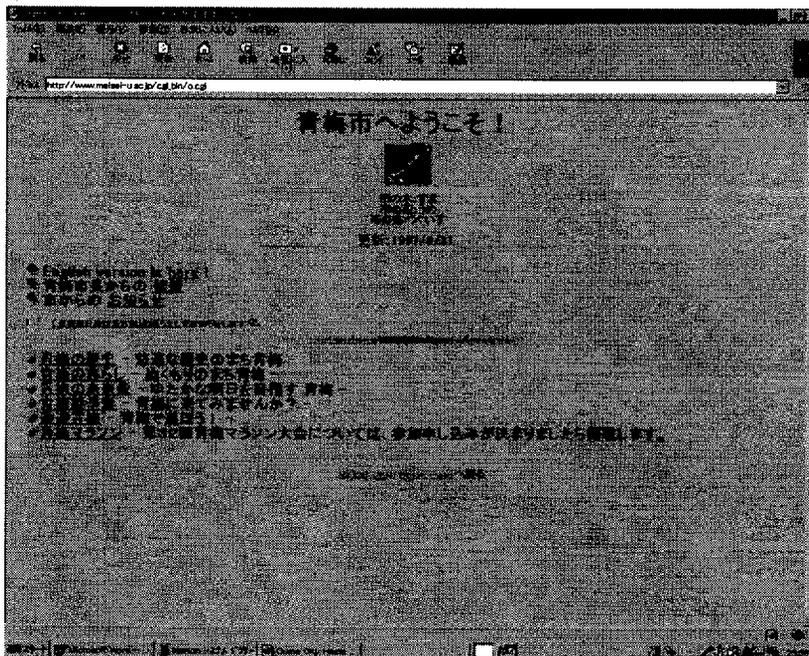


図-5：信州の各市町村の紹介
 (信州の企業のホームページに相乗り)

URL: <http://www.shinsyu.online.co.jp>

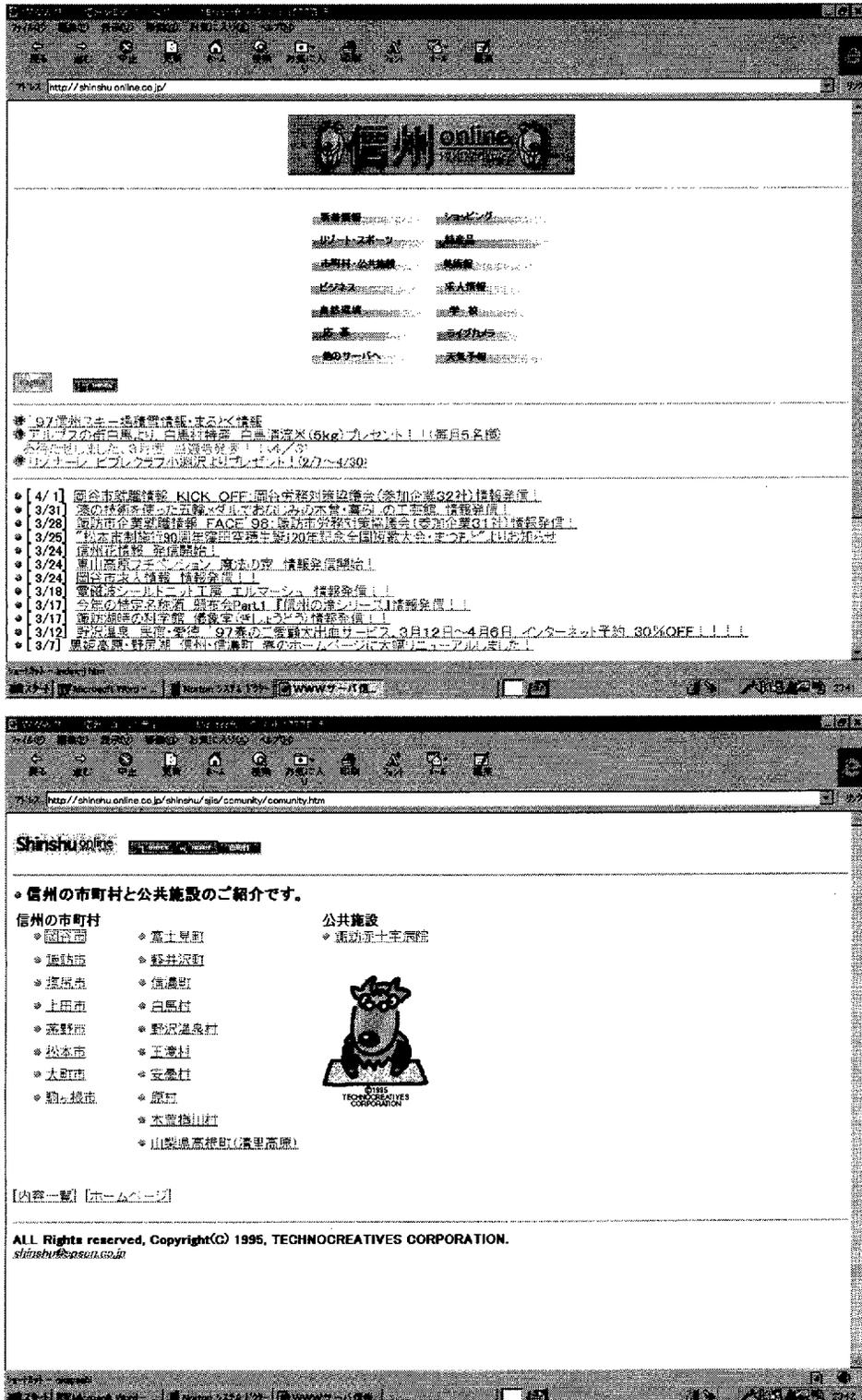


図-6：神戸大学小児科のホームページ

URL：http://www.medkobe-u.ac.jp/ped/welcome.html

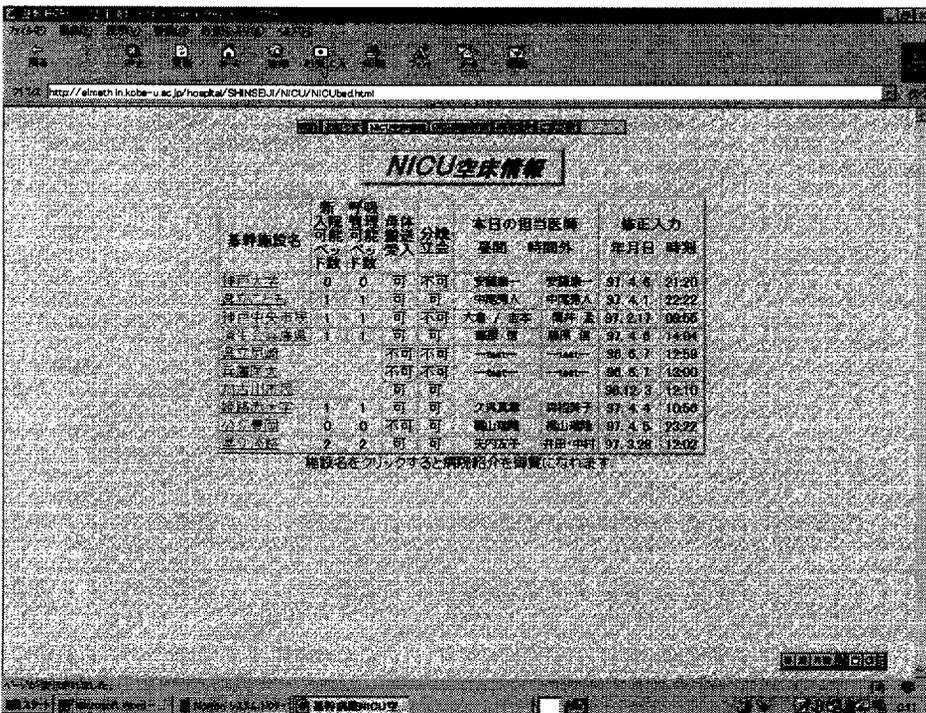
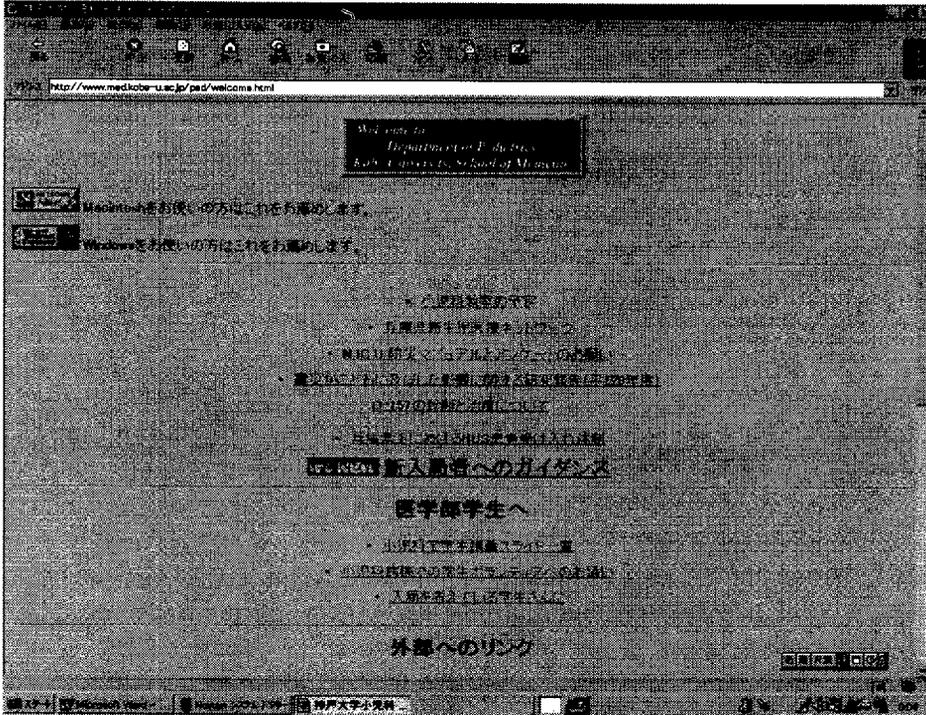


図-7：厚生省心身障害研究班「周産期データベースフォーマット」

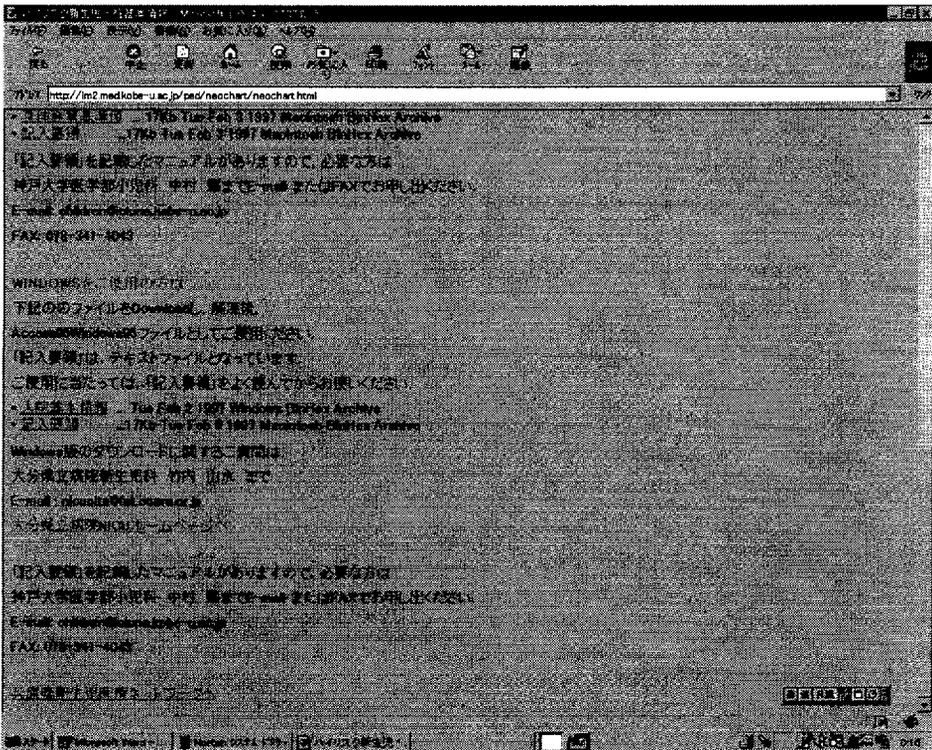
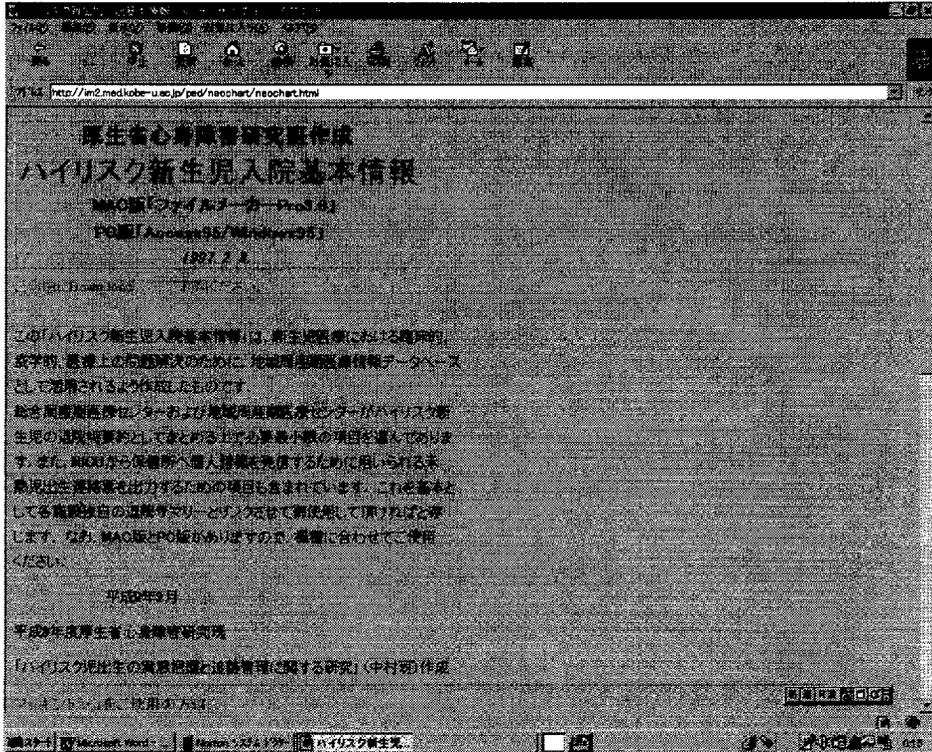
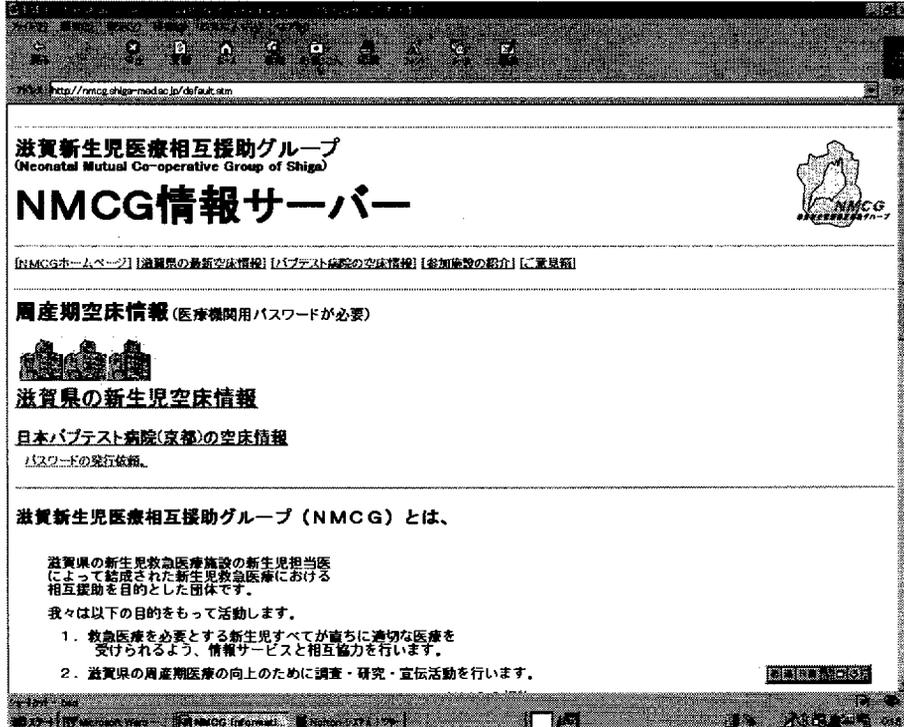


図-8：滋賀大学医学部小児科のホームページ
(滋賀新生児救急情報システム)

URL：http://nmcg.shiga-med.ac.jp/default.stm



アレルギー外来のホームページ

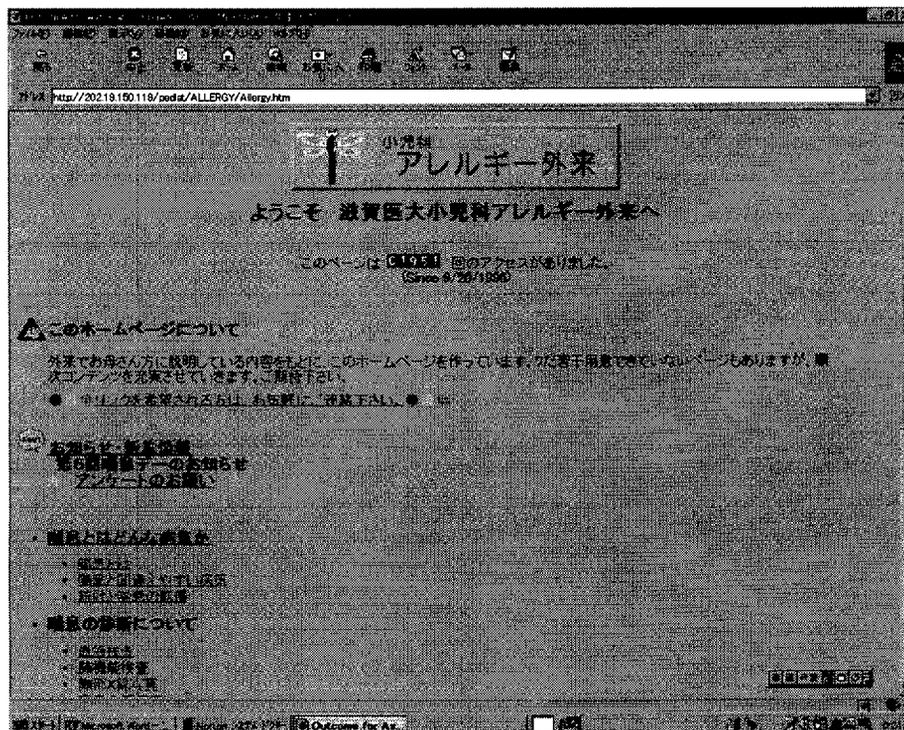


図-9：東大小児科のホームページ

URL：http://www.pedh.u-tokyo.ac.jp/LOJ.html

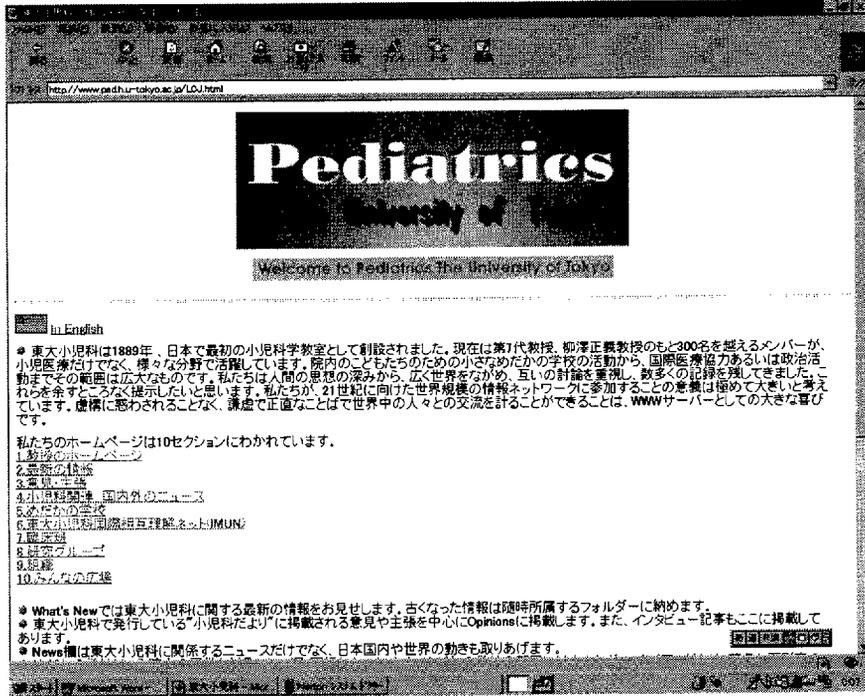


図-10：国立感染症研究所

URL：http://www.go.jp/yoken/index-j.html

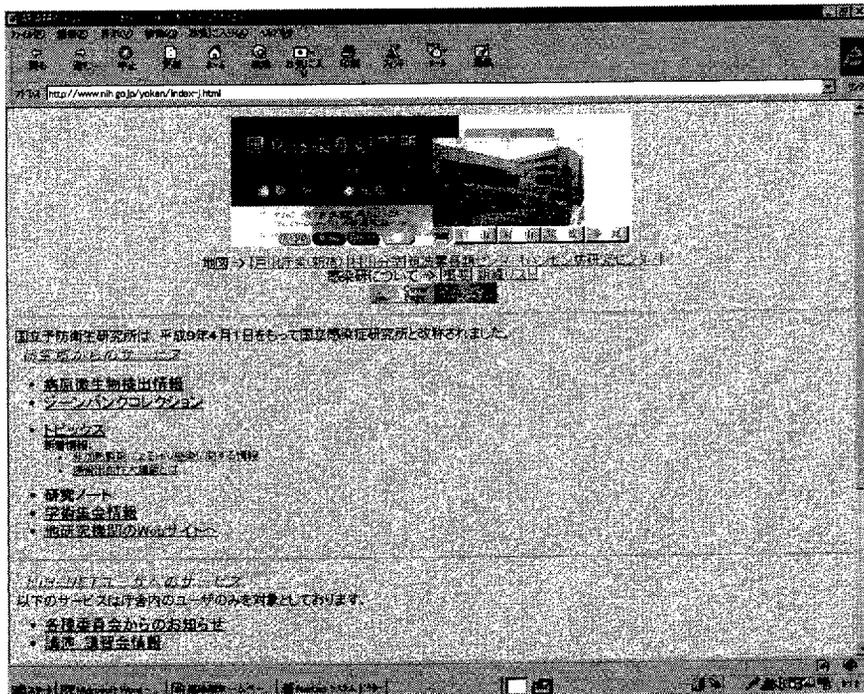


図-11：国立衛生試験所

URL : <http://www.nihs.go.jp/index-j.html>

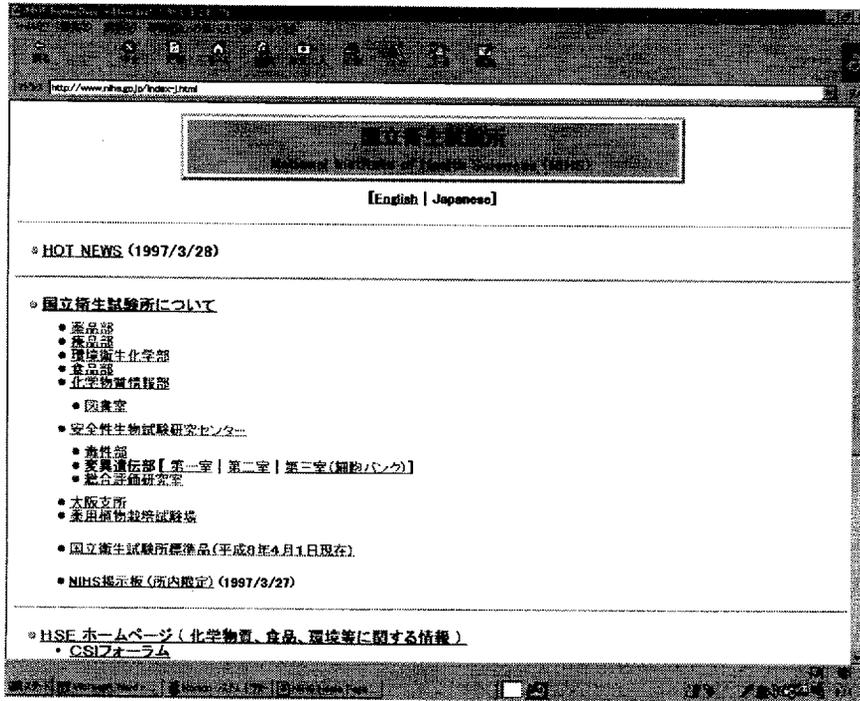


図-12：国立家畜衛生試験所

URL : <http://ssniah.affrc.go.jp/NIAH/hoge-shtml>

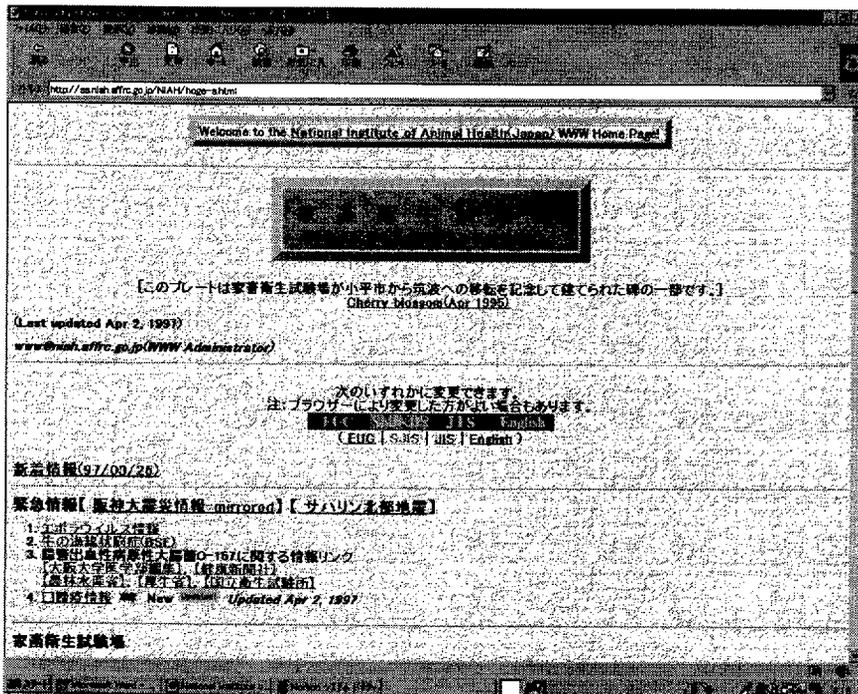


図-13：東京都衛生研究所

URL : <http://www.tokyo-eiken.go.jp/index-j.html>

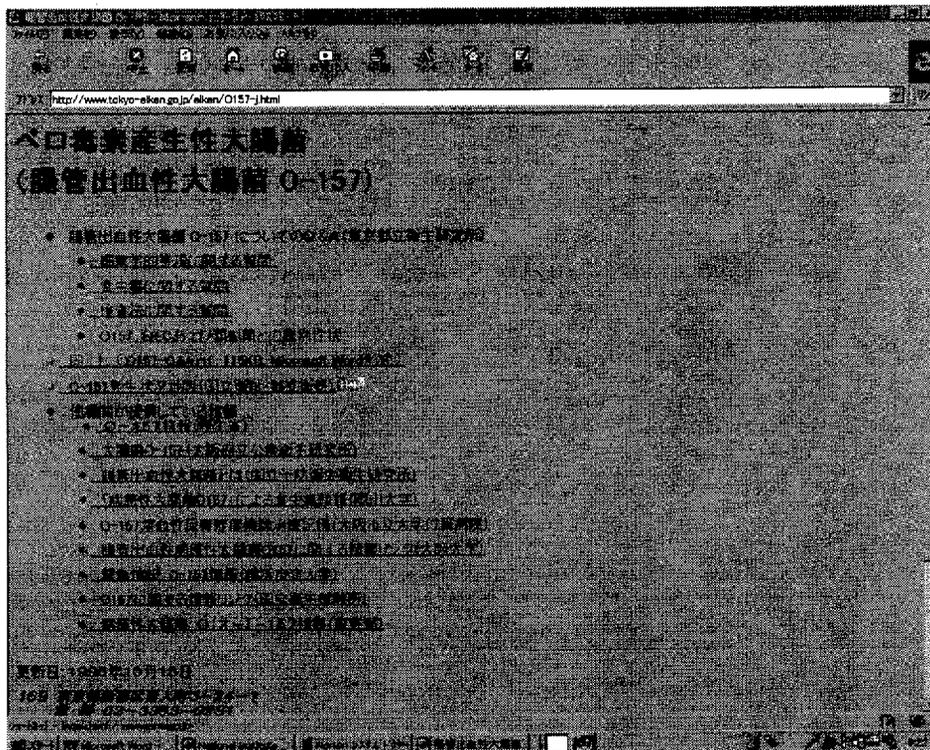
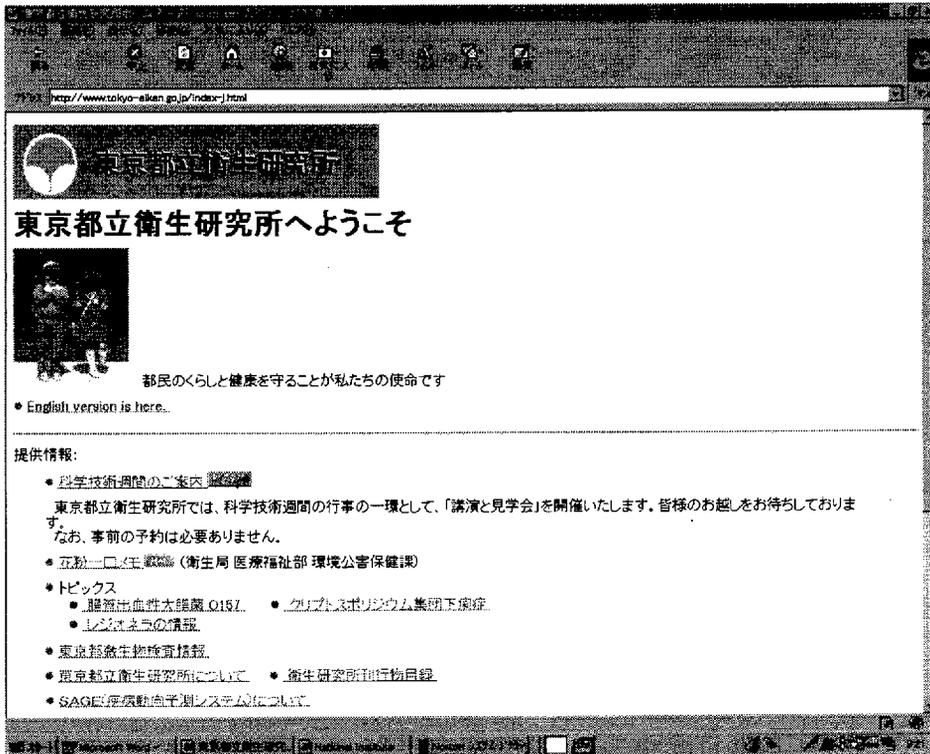


図-14：国立婦人教育会館

URL : <http://www.nwec.go.jp/>

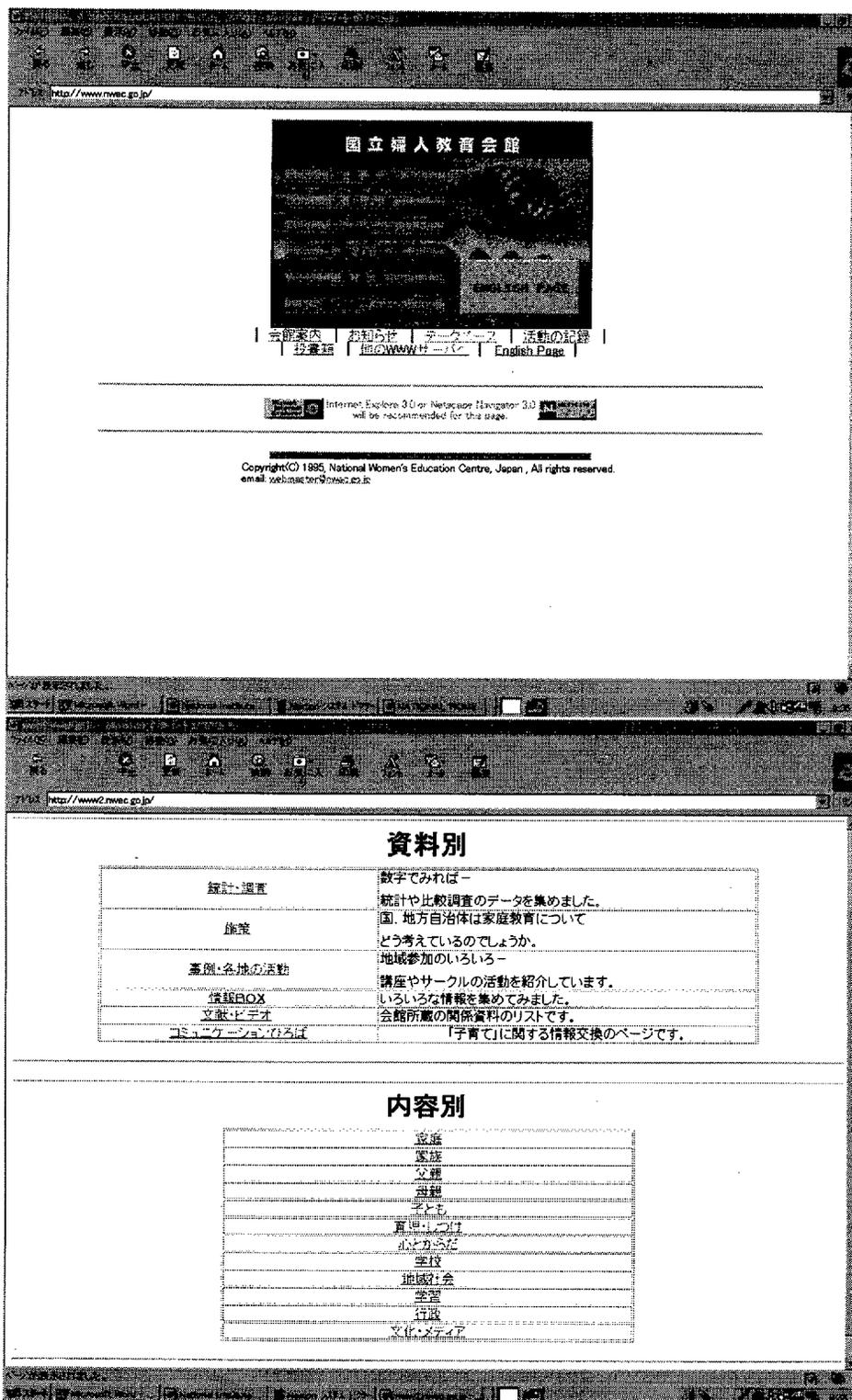


図-15：国立特殊教育研究所

URL: <http://www.nise.go.jp/>

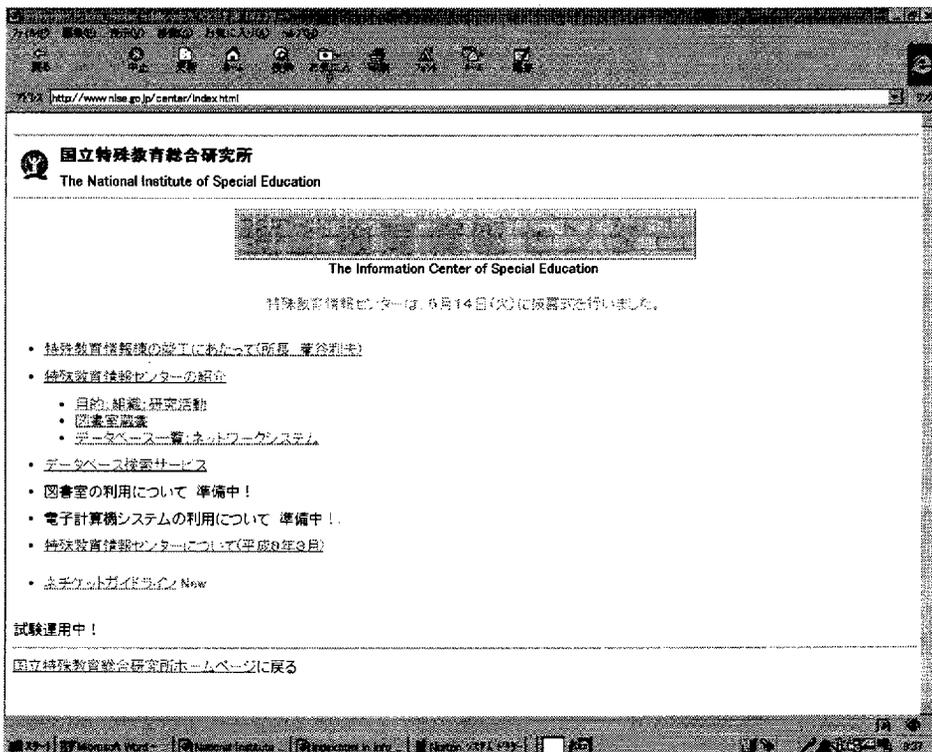
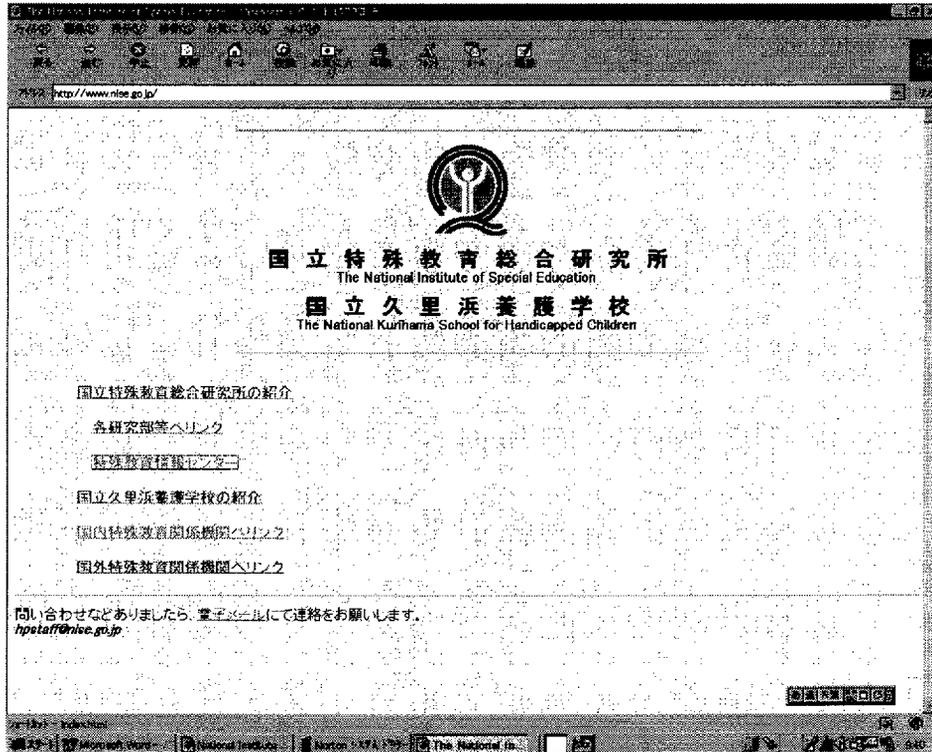


図-16：日本子ども家庭総合研究所

URL：http://www.aiiku.or.jp/

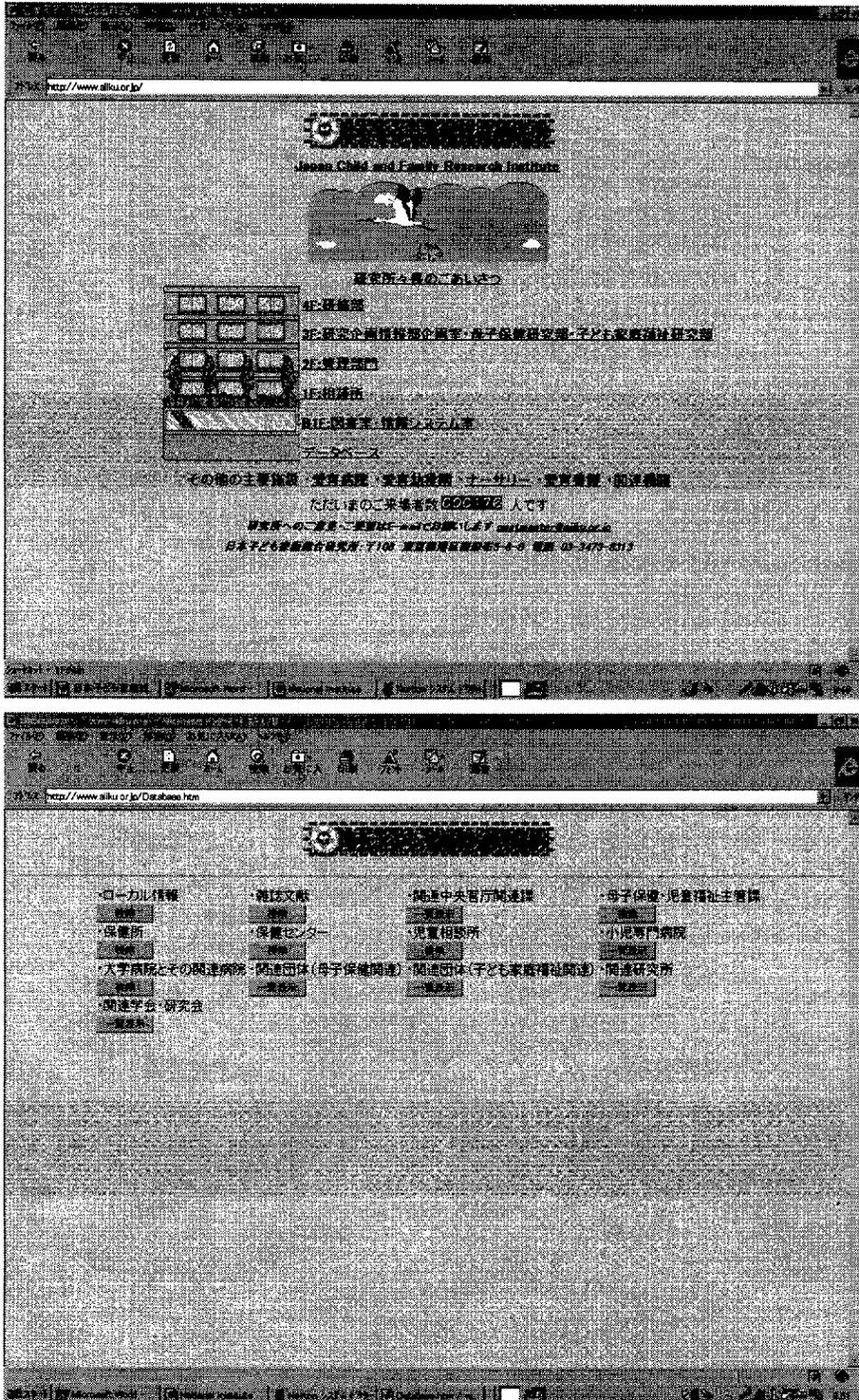


図-17 : Child Research Net

URL : <http://www.cm.or.jp/>

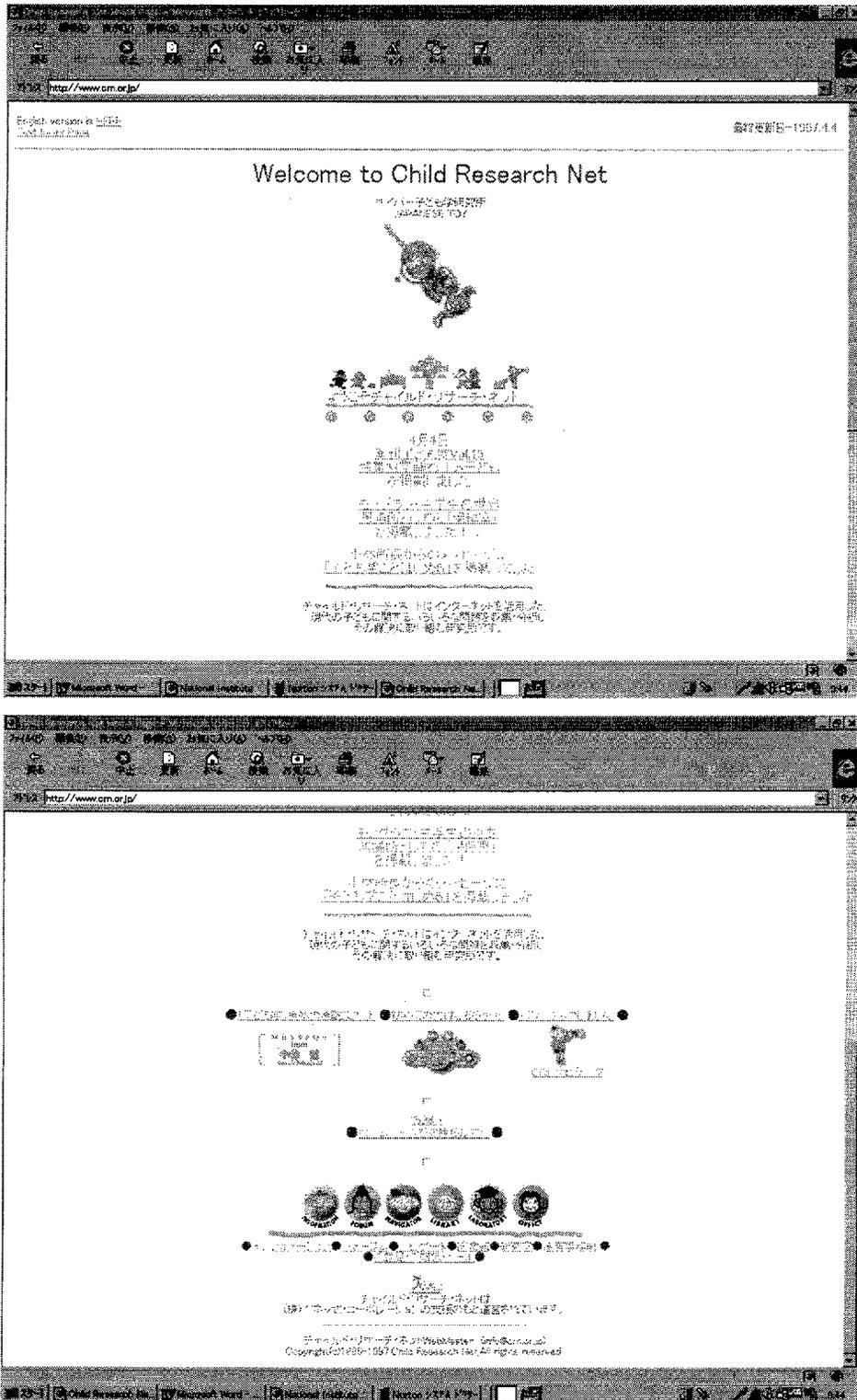


図-18：母子保健・家庭保健教育普及グループ

URL：http://www.mcfh.co.jp/

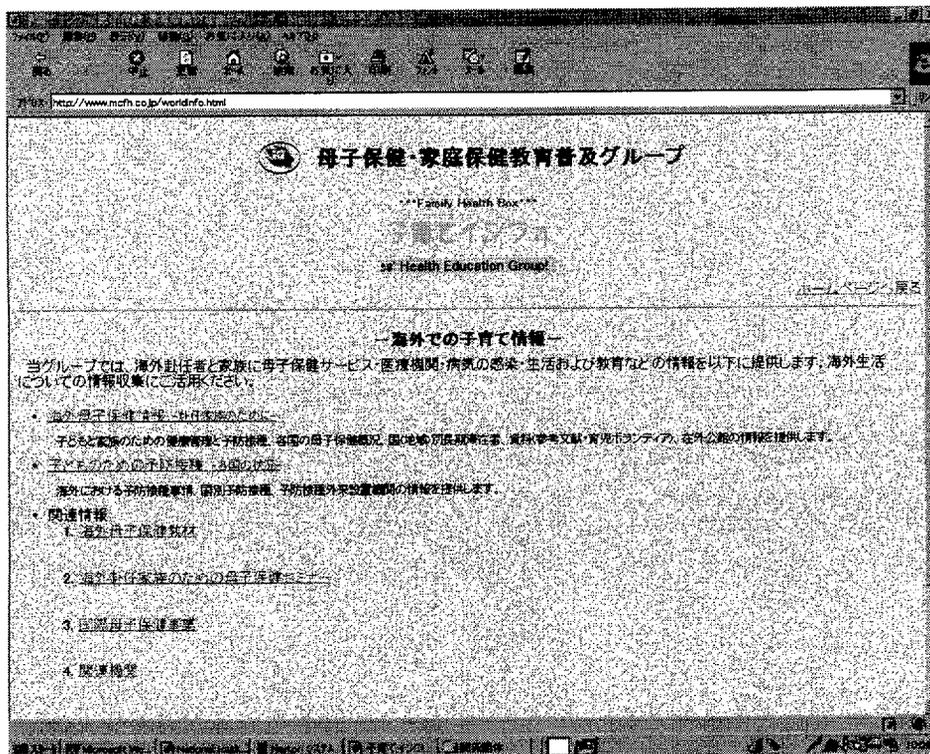
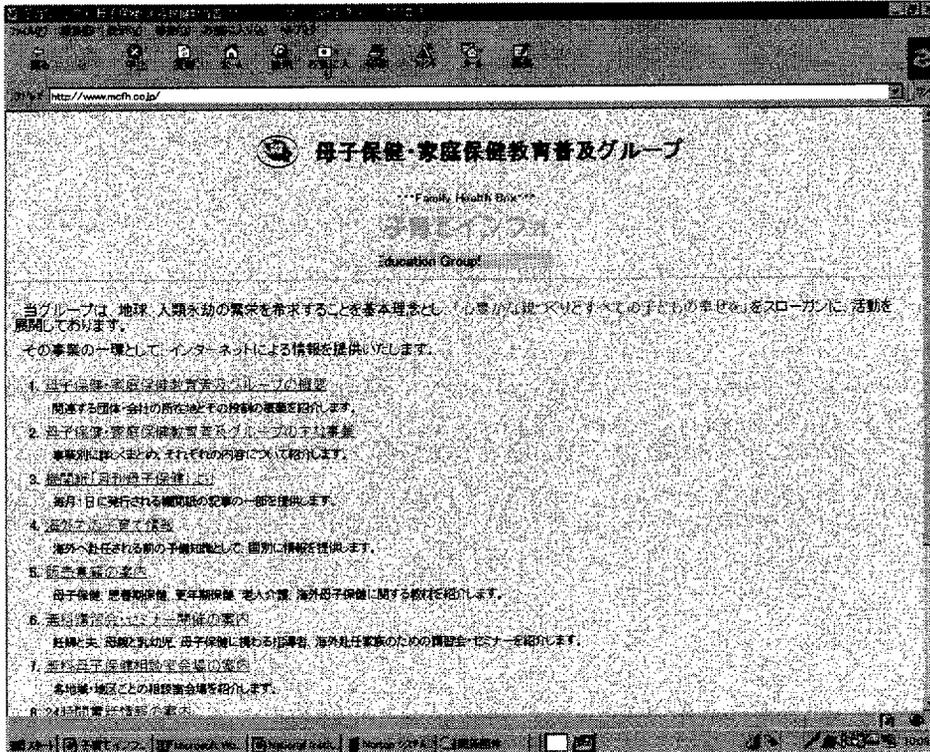
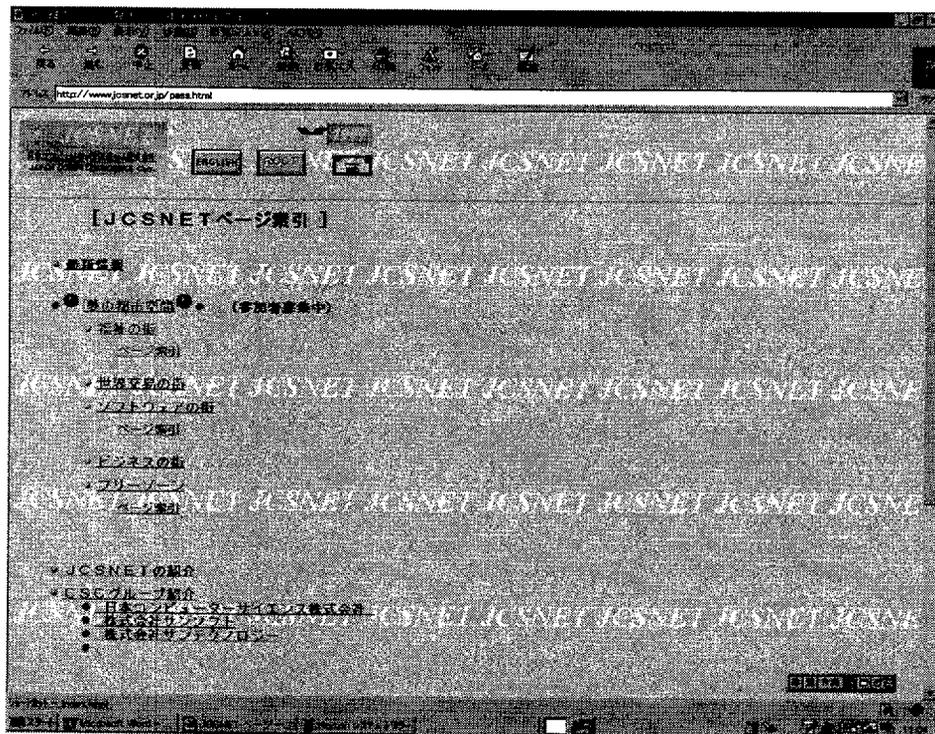


図-19: JCS-Net

URL:



http://www.jcnet.or.jp/V-CITY/welfare/index.html

「福祉の街」

「求められる情報を 求める人に...」

- はじめに
「福祉の街」の基本的な考え方とご協力をお願い
- 最新情報(What's New)
最新情報や更新された情報を提供しています。
- みんなの広場
福祉に関する情報交換の場です(自由にご利用ください)
- 介護に関する情報の広場
高齢者介護やエチケットなどの情報を掲載
- 都道府県別の相談所・展示場一覧
高齢者福祉に関する都道府県、政令指定都市の窓口の一覧 常設の福祉機器展示場の一覧
- 福祉関連の組織・団体ご紹介
高齢者福祉、障害者福祉に取り組んでおられる組織、団体のご紹介
- 福祉用具展示場
福祉機器、用具、介護機器に関する情報提供(無償掲載中)

http://www.jcnet.or.jp/V-CITY/welfare/index.html

福祉用具相談の家
福祉用具に関するよくある質問やその答え

指針、テクニカル情報
アセスメントの指針、技術・学術情報

ボランティア情報
ボランティア推進機関・団体に関する情報です

参加企業、組織さん一覧
協賛していただいた企業、団体の一覧(せひと一掃を)

*** << 地域連絡情報 >> ***

北海道	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	徳島
新潟	富山	石川	福井		香取	山梨
岐阜	静岡	愛知	三重			
滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	
鳥取	島根	岡山	広島	山口		
徳島	香川	愛媛	高知			
福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
						沖縄

「福祉の街」に関するお問い合わせは...
Press here -> E-Mail: welfare@jcnet.or.jp

Presented by Japan Computer Science Corp.

図-20：グリコのホームページ

URL : <http://www.toppan.co.jp/glico/>

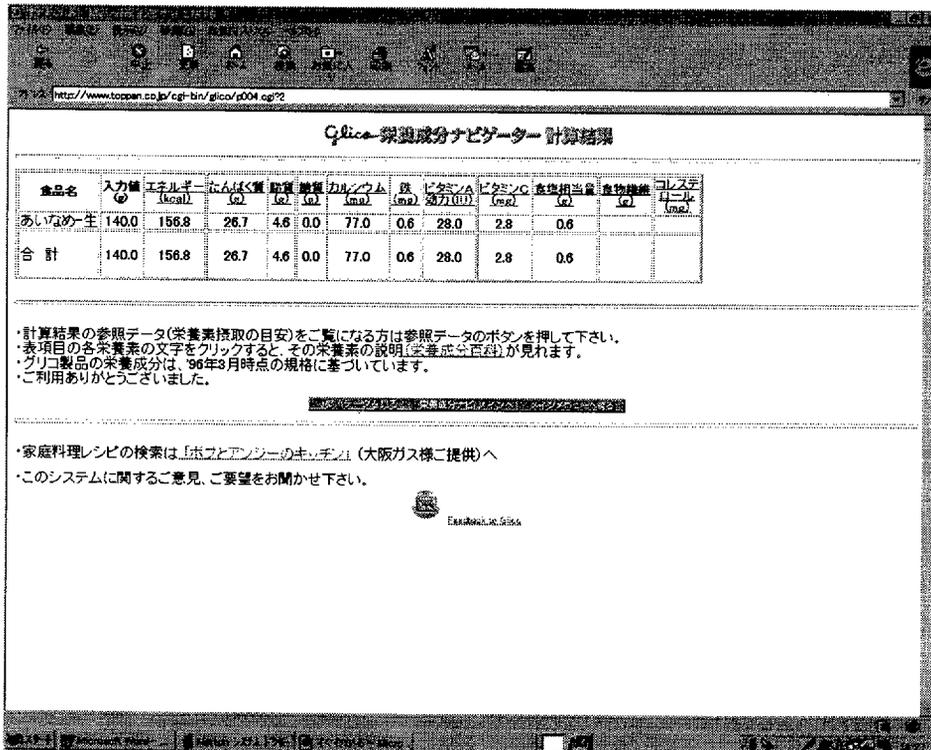


図-21：和光堂のホームページ

URL : <http://www2.infoweb.or.jp/wakodo/>

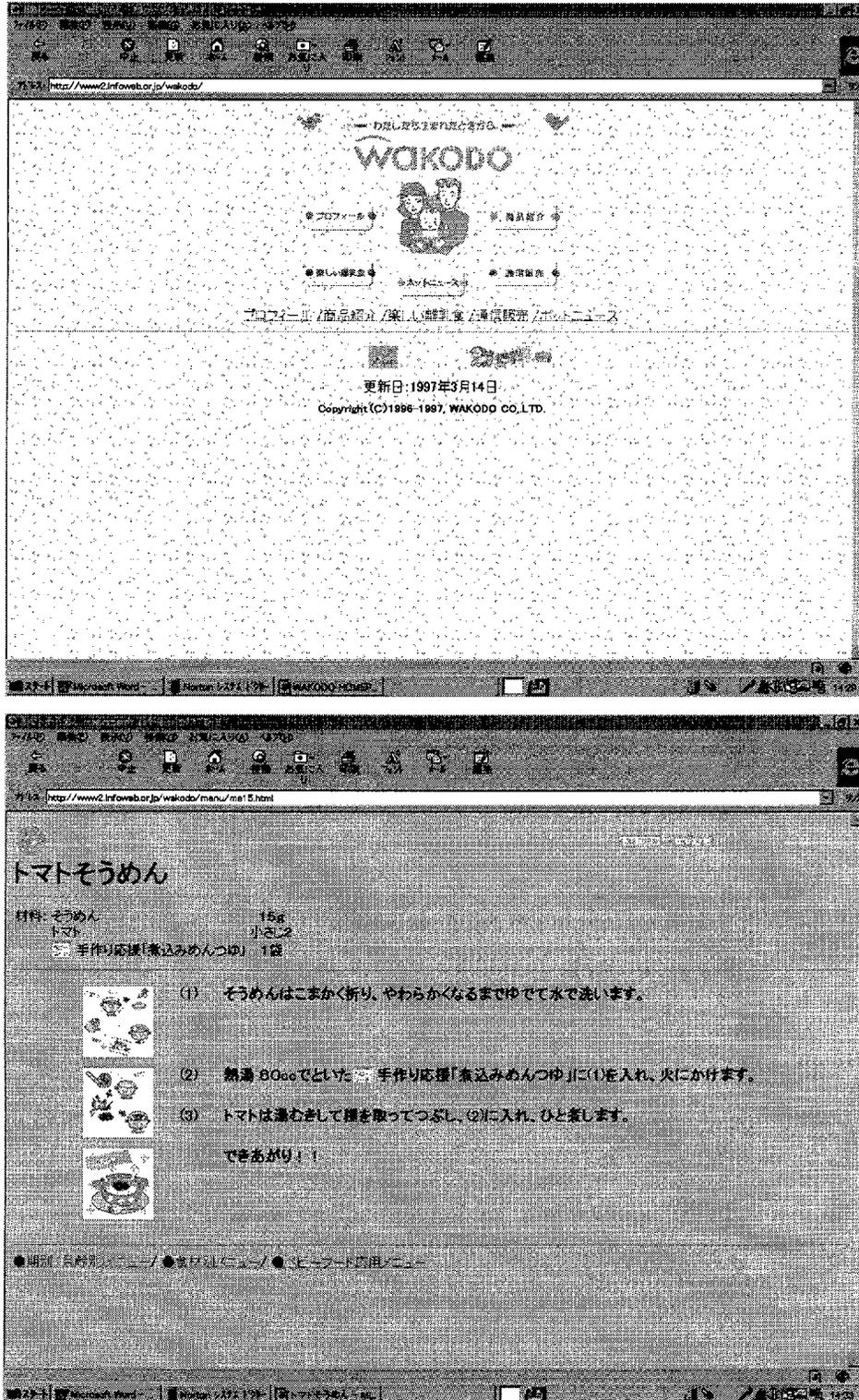


図-22：日本ダウン症ネットワーク

URL : <http://infocam.cc.affrc.go.jp/~momotani/dowj.html>

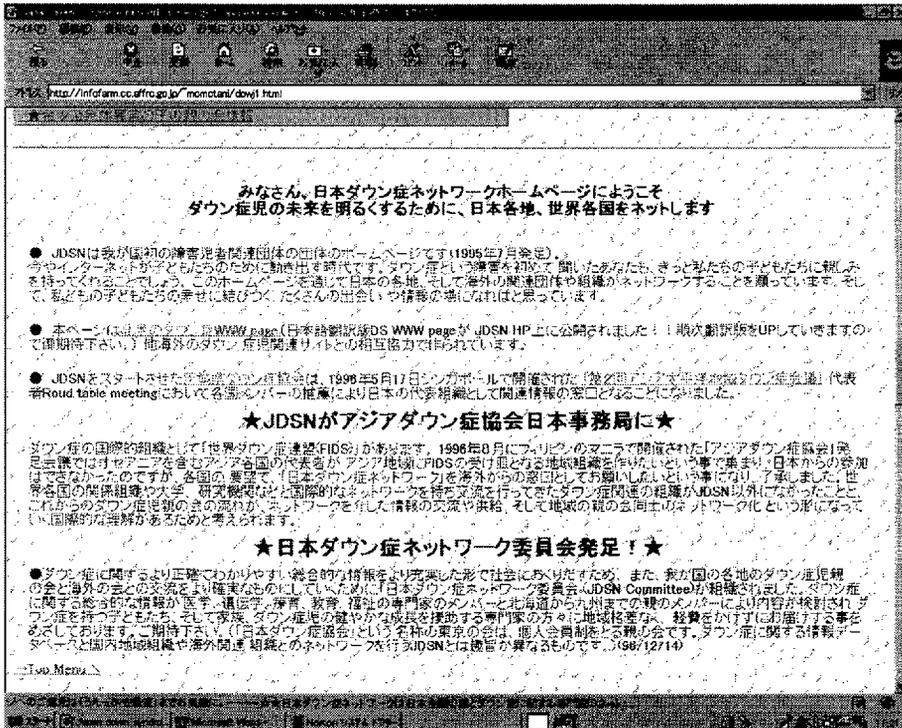
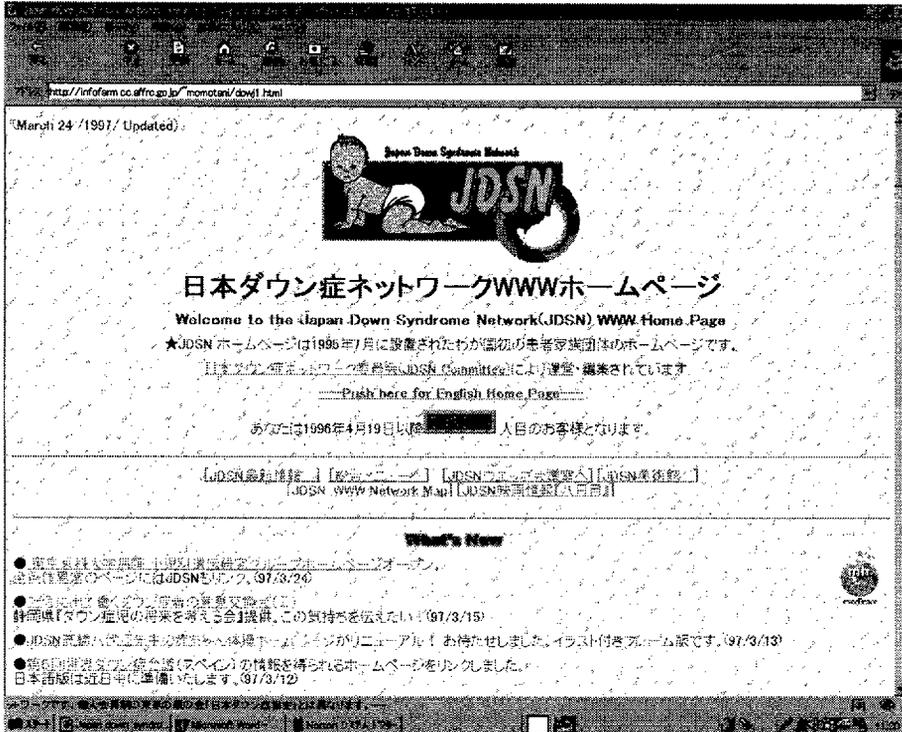


図-23：喘息FAQのホームページ

URL：http://www.uncle.or.jp/~ksato/asthma.FAQ/a_faq.index.html

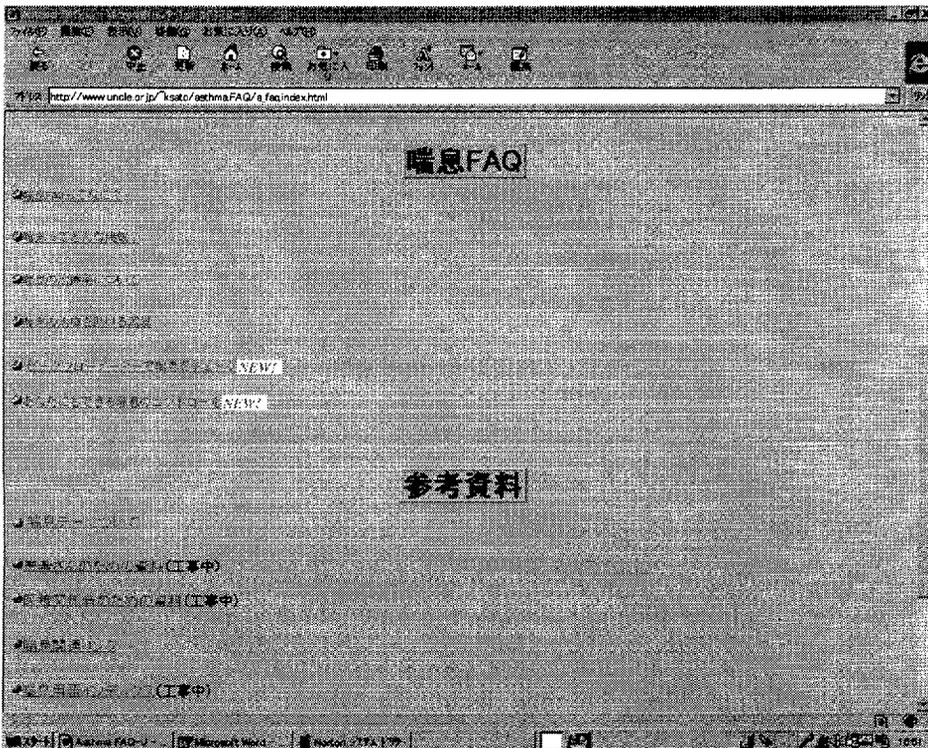
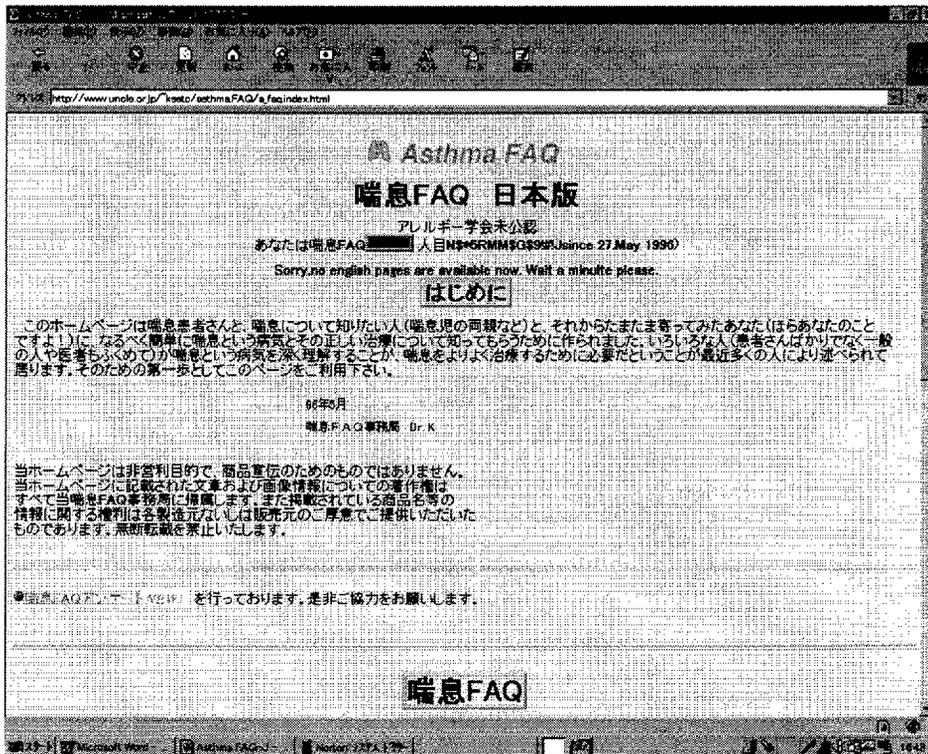


図-24：広島市立ふなないり病院小児科のホームページ

URL：http://village.infoweb.or.jp/~fwgi4458/

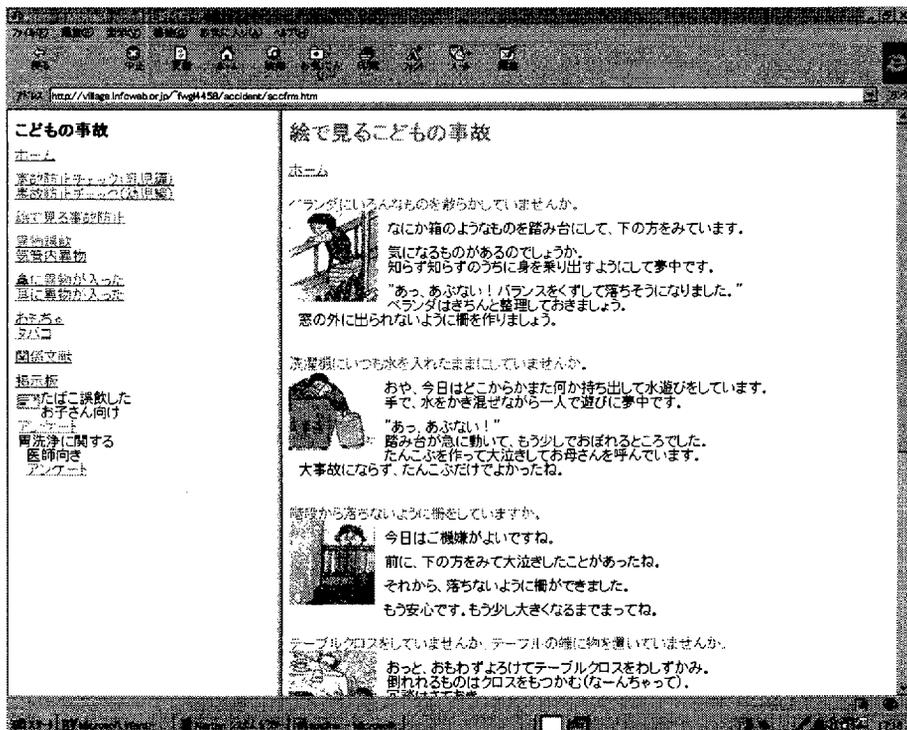
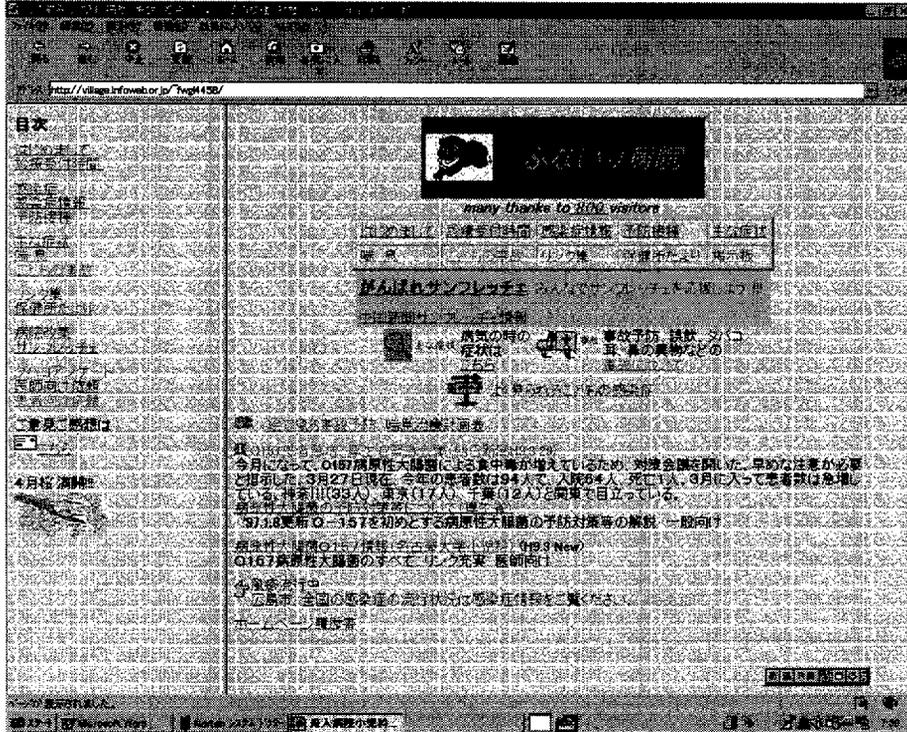


図-25：愛育病院NICUホームページ

URL：<http://www.path.or.jp/~kkabe/index.html>

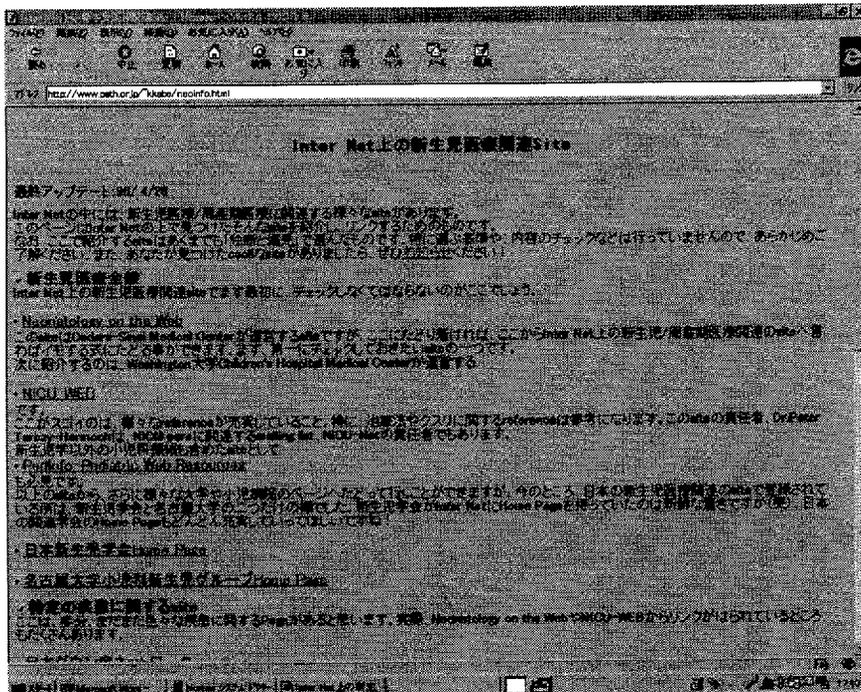
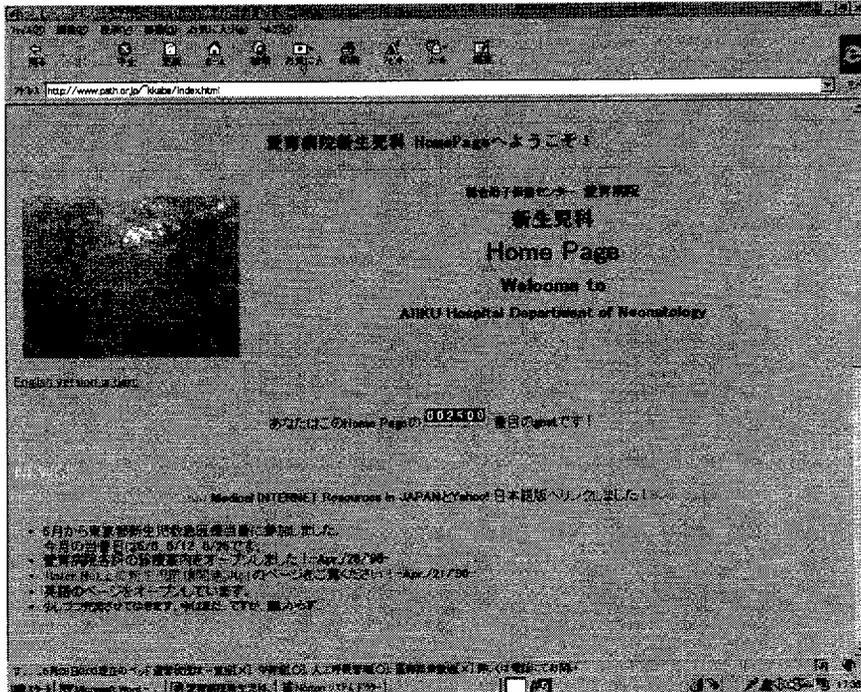


図-26：牧丘町立病院のホームページ

URL：http://www.y-min.or.jp/vaccine.html

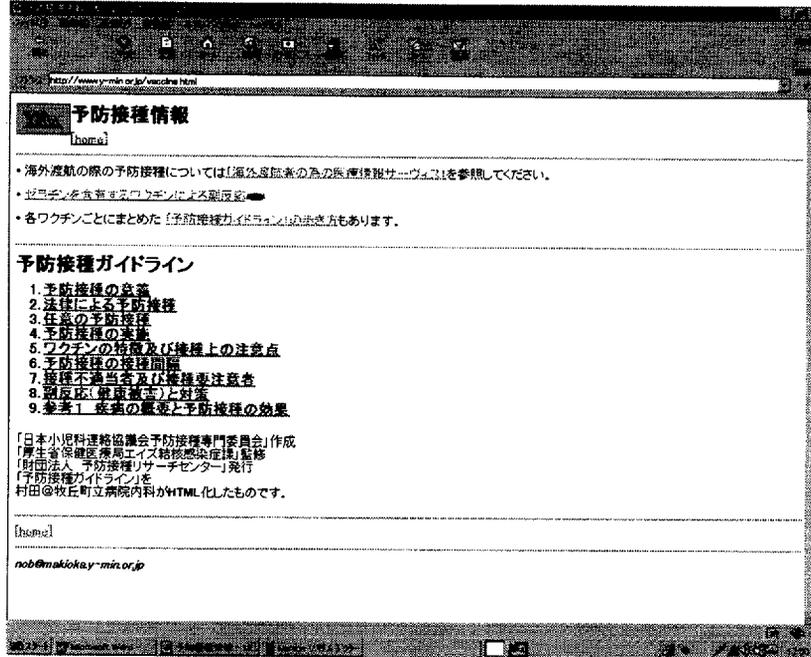


図-27：山口大学中毒情報

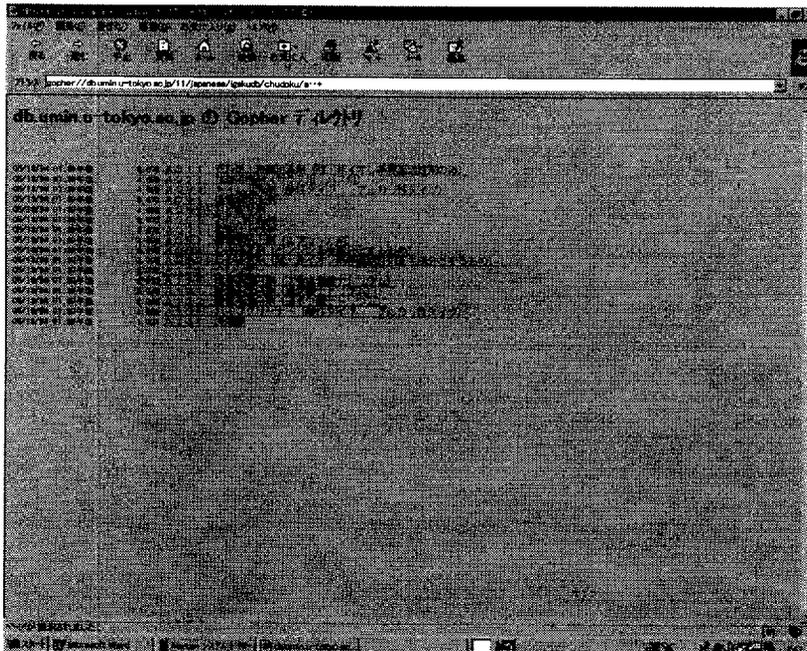
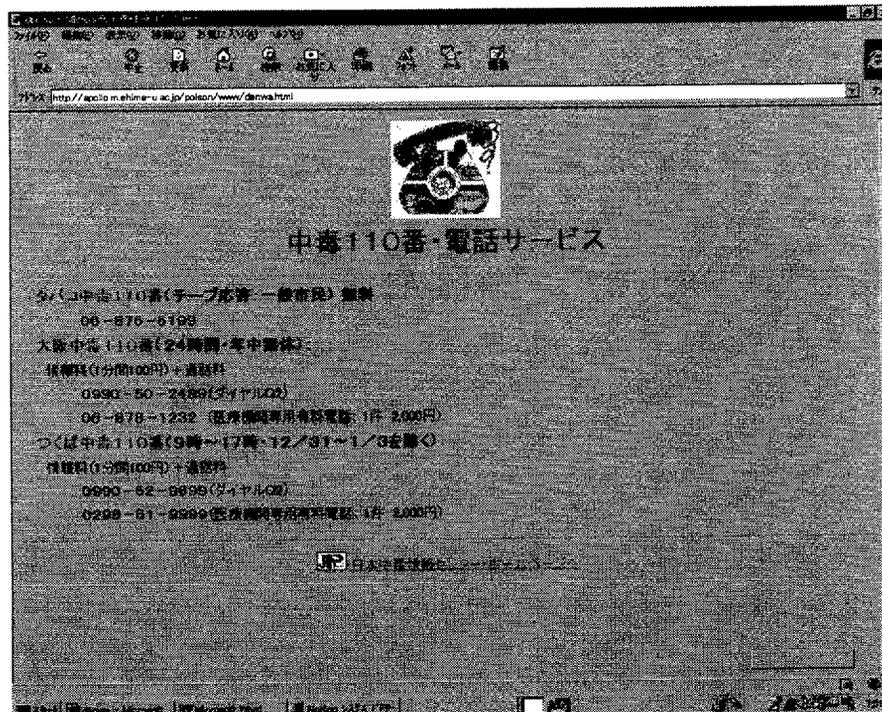
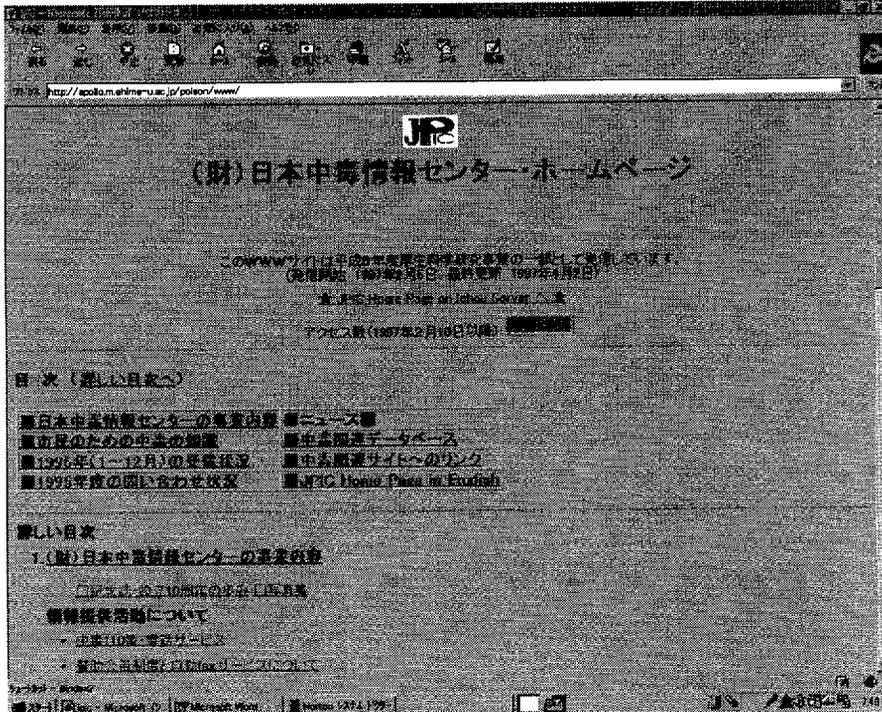


図-28：日本中毒情報センター

URL：<http://apollo.m.ehime-u.ac.jp/poison/www/>





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



【要約】わが国における高齢化と少子化現象は、21世紀に向けて急速な勢いで進行している。この少子化に対して、種々な子育て支援が行われているが、この中で注目されている一つが、子育てに関する適切な情報を適時提供するシステムである。最近、爆発的な流行を醸し出しているインターネットからも、母子保健、医療、福祉に関連する有益な情報が発信され、中には双方向の情報交換の場として活用されている。これらの情報の提供元をみると、行政機関、教育機関、研究機関、各種法人によるものが多いが、最近の特徴として、民間企業、ボランティア団体、患者の会、個人が提供する情報が急増してきている。われわれは、昨年度よりコンピュータを通して電子的に提供される母子保健福祉情報について検討しているが、今年度はインターネットを通して提供されている情報について、いくつかのホームページを検証してみた。今回は収集したホームページは国内版が用意されているものとし、個人的主張が強いものや、営利目的のもの、個人のものは除外して検討した。